

SUBSTR関数

指定された位置から指定された長さの値を取り出す

◇機能

指定された値の開始位置から、指定された長さ（文字数）の値を文字で返します。

◇構文

SUBSTR(取得対象値, 開始位置, 取得文字数)

引数	入力内容
1 取得対象値	対象となるフィールド（文字型、数値型、日付時刻型）またはリテラル値、式を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 数値型（10進数）フィールドの小数点は、1文字としてカウントされませんが、値は取得されます。 ● 数値型フィールドの桁区切りのカンマは、無視されます。 ● 数値型フィールドのマイナス記号は1文字としてカウントされます。 ● 日付時刻型フィールドの「/」「:」は1文字としてカウントされます。
2 開始位置	値を取り出す開始位置（先頭から数えた文字数）を数値で指定します。
3 取得文字数	取り出す値の数（文字数）を数値で指定します。

SUBSTR

SUBSTR(取得対象値, 開始位置, 取得文字数)

取得対象値 取得対象となる値を指定します。

開始位置 何文字目から取得するか、開始位置を指定します。

取得文字数 開始位置から取り出したい文字数を指定します。

指定した値またはフィールドの値に対して、開始位置から指定した文字数分の値を取得します。
 半角も全角も1文字として数えます。
 取得した文字のデータ型は、文字型となります。

◇戻り値のデータ型

文字型

◇処理の例

例	式	フィールドの値	戻り値
「商品No」フィールド（文字型）の先頭（開始位置1）から3字を取り出す	SUBSTR([商品No], 1, 3)	03001	030
「金額」フィールド（数値型）の4字目から2字を取り出す	SUBSTR([金額], 4, 2)	781650	65
		781,650	65
「金額」フィールド（数値型）の1字目から4字を取り出す	SUBSTR([金額], 1, 4)	123.4	123.4
		-123.4	-123
「計上日」フィールド（日付時刻型）の6字目から2字を取り出す	SUBSTR([計上日], 6, 2)	2023/07/01	07